

消防団・婦人消防隊秋季検閲を挙行



↑消防団・婦人消防隊秋季検閲の様子

9月13日（日）、広野町総合グラウンドで、爽やかな秋晴れの中、平成27年度広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲を実施しました。広野町消防団50人、広野町婦人消防隊10人、広野火力発電所自衛消防隊5人が参加し、表彰披露の後、通常点検、消防ポンプ車などの機械器具点検、小隊訓練などを行いました。

今年度2回目の広野駅環境美化活動



↑広野駅環境美化活動の参加者

9月5日（土）、JR広野駅で今年度2回目の広野駅環境美化活動を行い、広野町広野駅環境美化推進協議会、広野町婦人会、JR東日本、地元企業、広野町などから参加した約50人が、駅構内や周辺の除草作業をしました。6月に1回目を行ってから、夏の間はずいぶん雑草が伸びていました。

ふれあいキャンペーンで安全運転を呼びかけ



↑ふれあいキャンペーンの様子

9月25日（金）、町内大字下北迫地内で秋の全国交通安全運動「ふれあいキャンペーン」を開催しました。キャンペーンには、富岡地区交通安全協会広野協会の会員、双葉警察署所の警察官、町職員などが参加し、啓発ちらしなどを配って帰宅時間帯のドライバーに交通安全を呼びかけました。

町議会、川内村、川内村議会と合同緊急要望活動を実施



↑町・町議会・川内村・川内村議会合同緊急要望活動の様子

広野町は、10月2日（金）、広野町議会、川内村、川内村議会とともに、福島市内で内閣府原子力災害現地対策本部および福島県に対して合同緊急要望活動を行いました。遠藤町長、鈴木町議会議長、遠藤雄幸・川内村長、西山東二・川内村議会議長が福島県自治会館内の原子力災害現地対策本部を訪れ、後藤副本部長に要望書を手渡し、引き続き福島県庁を訪れ、鈴木副知事に要望書を手渡しました。要望の内容は、住民の帰還を促進するとともに帰還した際の生活再建を図るため、新たな支援措置を講じることなどです。

放射線健康対策委員会を開催



↑放射線健康対策委員会

9月18日（金）、第2回広野町放射線健康対策委員会を開催しました。広野町の除染がほぼ完了したことから、従来の広野町除染等に関する検証委員会を今年度から名称変更しました。同委員会は、この日の午後開催した国際フォーラムのセッション「広野町民のこれからの健康について」を担当しました。

福祉車両の贈呈



↑福祉車両贈呈の様子

9月30日（水）、広野町老人福祉センターでイオン社会福祉基金から社会福祉法人広野町社会福祉協議会へ福祉車両の贈呈があり、イオンリテール株式会社の家坂有朋・取締役専務執行役員東北カンパニー支社長から同協議会会長の遠藤町長に目録が手渡されました。この車両は車椅子2台と8人を載せられる送迎用車両で、広野町デイサービスセンター桜桜荘に配置されます。同社は現在建設中の公設商業施設「ひろのてらす」のキーテナントに決定しています。

大学生がインターンシップの研修成果を発表



↑大学生によるインターンシップ研修成果発表会の様子

9月20日（日）、広野町役場で、小樽商科大学の学生3人が町など関係者に、インターンシップの研修成果を発表しました。3人は、9月14日（月）から、応急仮設住宅に寝泊まりしながら国際フォーラム『被災地・広野町から考える』に参加したもので、堂々としたプレゼンテーションを行いました。

復興応援コンサートを開催



↑復興応援コンサートの様子

10月4日（日）、広野町中央体育館でシンガーソングライター・関島秀樹さんの復興応援コンサートが開催されました。関島さんは震災後、いわき市にある応急仮設住宅や広野町公民館などでコンサートを開催し、今回で5回目になります。集まった約50人の観客は、東日本大震災復興応援歌「がんばる君のために」などを一緒に口ずさんでいました。